

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	路線バス拡充要請事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	都市計画課				
施策	1-8	利便性と快適性を重視した公共交通機関の整備充実	主管課長	中山 貢一				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	路線バスを利用する市民等	意図	民間バス路線網の拡充を促進する。
事業内容	市内に路線を持つバス事業者に対して、既存路線の充実や新規計画路線の早期実現に向けての要請を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	つくばエクスプレス開業年の平成17年度には3路線であった市内のバス路線が、平成26年度には11路線に増加している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	路線数	12	12	11	
②	1日の運行回数	370	363	376	回	↑↑↑	H26年度から路線数の計測根拠を変更
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成26年度は、以下の変更により運行便数が増加した。 ・東武バス「南流山駅～宮園循環」を廃止し、「南流山駅～西平井～流山セントラルパーク」を新設（12便→17便） ・京成バス「流山おおたかの森駅西口～江戸川台駅東口」を「流山おおたかの森駅東口～江戸川台駅東口」に変更したことにより、3便増 ・京成バス「流山おおたかの森駅西口～平和台駅」の経路を、おおたかの森小中学校経由に変更したことにより、3便増
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		71,780	69,870	690,927			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		71,780	69,870	690,927			
人役・職員(人)		0.01	0.01	0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	バス事業者に対し路線の拡充を要請していく。	③取り組みの課題	費用対効果が望めない路線の廃止を含む減便等。
②今年度(H26)に実施した取り組み	路線バスが市民にとって便利なものとなるよう、バス事業者に対し、要請を行った。	④今後の改善計画	引き続きバス事業者に対し新規路線の開設等について提案等を行っていく。